

中丹学力向上メソッド～中丹版力のある学校をつくる6つの柱と18の視点～

※中丹学力向上メソッドは、大阪大学大学院 志水宏吉教授の著書を参考にしました。

1 気持ちのそろった教職員組織を目指しましょう！

- 1 校長等のリーダーシップと明確なビジョン(社会に開かれた教育課程の実現)
- 2 ともに学び合い、高め合う教職員組織(気づく力、伸ばす力をはじめとした教員に必要な5つの力の育成)
- 3 子どもの実態を十分踏まえ、将来の見通しを持った具体的な目標の共有(学力向上プログラム、よりよい人間関係育成プログラム)

2 各種学力調査を活用した分析・実態把握に努めましょう！

- 1 各種学力調査等(テストや質問紙)の内容の共通理解
 - 2 各種学力調査等(テストや質問紙)、「はぐくみたい力」見える化シートの活用による様々な視点からの分析
 - 3 分析結果に基づいた実態把握と課題解決に向けたカリキュラム・マネジメント及び具体的方策の共有
- 【具体的方策】
- ア 出題された問題を校内で共通確認する。
 - イ 同一集団の結果の経年比較及び一人一人の児童生徒の状況が分かる分析をする。
 - ウ 補充的な学習の計画を立て、実行し、検証する。
 - エ 課題の見られた分野について、次年度以降の指導に生かすシステムを構築する。

3 学びの基盤をつくりましょう！

- 1 落ち着いて学習できる集団づくり、学習のルールの明確化(学級経営の充実)
- 2 豊かな人間性の育成(人権教育、道徳、特別活動、法やルールに関する教育等)
- 3 たくましく健やかな身体の育成(安心・安全、体力、食育)

4 すべての子どもの学びを支える授業づくりを進めましょう！

- 1 すべての子どもたちが学ぶ楽しさや成長を実感できる授業づくり
- 2 個に応じた学習支援や指導の充実
- 3 付けたい力を明確にした授業研究、教職員研修の充実

5 主体的に学びに向かう子どもを育てましょう！

- 1 学習習慣の定着を図る取組
- 2 授業と授業以外の学びのリンク
- 3 子どもの知的好奇心を揺さぶる内発的動機付け

6 校種間・関係機関との連携、家庭や地域社会との連携・協働を進めましょう！

- 1 保幼小の円滑な接続(実効性のあるスタートカリキュラム)
- 2 小中高12年間を見通した校種間連携による自立的な学びの確立(社会に開かれた教育課程の実現)
- 3 学校をプラットフォームとした連携推進体制の構築(生活習慣・学習習慣の形成、学習機会の提供)